KSRS NEWS Letter

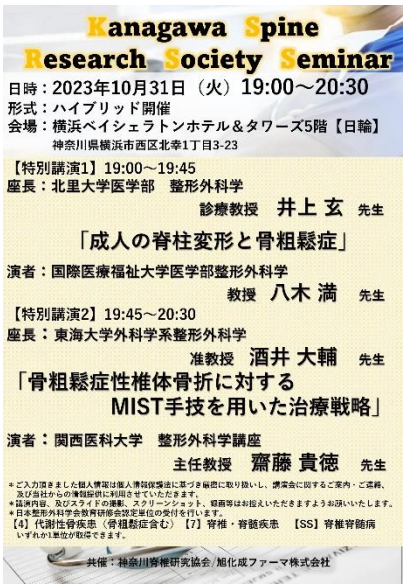
Vol.6
2023.9

教育支援事業

●今年度も既に企業様との共催にて講演会やセミナーを開催しております。

◎講演会の開催

【KSRS 共催セミナー】2023年10月31日(火) 旭化成ファーマ株式会社様
《特別講演1》
座長:北里大学医学部　整形外科学　診療教授　井上玄 医師
講師:国際医療福祉大学医学部整形外科学　教授　八木満　医師
「成人の脊柱変形と骨粗鬆症」
《特別講演2》
座長:東海大学医学部外科学系整形外科学　准教授　酒井大輔　医師
講師:関西医科大学　整形外科学講座　主任教授　齋藤貴徳　医師
「骨粗鬆症性椎体骨折に対するMIST手技を用いた治療戦略」



重要　セミナー・講演会での単位取得申請を開始しました

今回ご紹介の共催セミナーでは、**日整会の単位取得**が可能です。
また、今後開催するKSRSセミナーや講演会でも単位取得ができるようにしていきたいと考えております。
単位取得のための日整会への申請登録業務は事務局にて行いますので、共催いただける企業様は、KSRS事務局までご連絡をお願いいたします。

現在計画・進行中の臨床研究

● KSRS臨床研究を開始しています。

KSRSでは、大学病院の垣根を越えた、**神奈川県全体の施設・医師が集う組織であるメリット**を最大限生かし、以下の臨床研究を実施しています。

《進行中》

◎慢性疼痛治療に関する研究に向けた予備調査(多施設研究)
KSRSに所属する医師を中心とし、神奈川県内の医師を対象としてツートラムの使用状況などを集計。
合併症調査により他剤との差別化を明らかにすることを目的とした臨床研究。

◎神奈川県における骨粗鬆症性椎体骨折の治療方針に関するコンセンサスについてのアンケート調査(多施設研究)
OVFの治療方針は術者や施設間において差異が大きく、コンセンサスが得られていない状況である。
→神奈川県内の脊椎外科指導医を対象とし、AO Spine DGOU system に基づいた骨粗鬆症椎体骨折(OVF)の治療方針に関するコンセンサスを得ることを目的とした臨床研究。

《計画中》

◎転移性脊椎腫瘍に対する手術症例の栄養状態に関する多施設研究
転移性脊椎腫瘍の予後予測のスコアは繰り返しの評価が困難である。
聖マリアンナ医科大学本院より、転移性脊椎腫瘍に対する手術症例において術後生存率と栄養状態が相関することが報告されている。
→KSRS先生方の所属している施設を対象に、術前の栄養状態と再手術を要した術後合併症に関する研究や、術後生存率と栄養状態の関係性について、多施設での調査を実施し、より詳細な検討を実施することを目的とする多施設研究。

今後も様々な多施設という特性を活かした有効的な臨床研究を実施して参ります。
ご意見、ご要望のある方は是非KSRS事務局までご連絡ください。

● 令和4年度事業報告

内閣府NPOホームページにて、
法人の情報と事業報告書類一式の内容をご覧いただくことが出来ます。
URL:https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/014004081

公式HP : https://kanagawa-sekitsui.jp/
X(旧Twitter) : @kanagawa_spine
Facebook : @kanagawaspine